

## 10 大阪大学 文学部 人文学科合格 ／ 29回生 2010年(平成21年度)卒

私の受験生活について書こうと思います。

私の場合、家では誘惑が多くあまり集中できませんでした。そのため、平日は最終下校時間まで学校に残り、土・日は学校開放に欠かさず参加して勉強時間を稼ぎました。また、周りの人を見ると、自分も頑張ろうという気持ちになれます。

私が受験で何より大切だと思うことは、目の前の課題をおろそかにしないということです。毎日の予習や週末課題、小テストなど学校から与えられる課題は真面目にやれば十分に力がつきます。例えばネクステージは小テストや定期テスト、早朝プリントで在学中に4周はできると思います。課題が出されたら、全てを覚えきろうという意気込みで臨むとよいです。なかなか成績の上がりが感じられず、焦る人もいると思いますが、結果は必ず付いてきます。

もうひとつ、目標を高く持つということも大切です。私は初め1つランクが下の大学を志望校にしていましたが、B判定が取れるようになったとき、先生の勧めに従い今の大学に変えました。気を抜かず勉強できたのはそのおかげであると思っています。

私が後輩の皆さんにできるアドバイスはこれぐらいですが、少しでも皆さんの役に立てば幸いです。

## 11 名古屋大学 経済学部合格 ／ 29回生 2010年(平成21年度)卒

僕は、1・2年生のとき自分なりに勉強はしていましたが、大学のことはあまり考えていませんでした。3年生になり、部活を引退した後も、なかなか受験に気持ちを切り替えられませんでした。しかしその後、受けた数回の模試の結果が芳しくなく、「これはまずい」という気持ちが膨らんできました。それから、本気で名古屋大学を目指しました。

そのときの一番の問題は数学でした。赤本で過去問を見てもどう解いていいのか全くわからない状態でした。担任の先生と相談して、教科の先生に添削プリントを作ってもらうことにしました。最初のうちは時間をかけて解いたプリントも、添削で真っ赤になって「やり直し」と書かれて突っ返されました。それでもめげないで、プリントを出し続けました。1ヶ月ぐらい経つと、少しずつ解けるようになり「やり直し」の回数も減ってきました。この時期から先生の空いている時間が、我々(3人)のための補習になりました。「力がついた」と思えるようになったのは、2次試験の3日前ぐらいでした。そして迎えた2次試験2日目、数学は4問すべて解答用紙を埋めることができました。11月の名大オープンで半分も埋められなかつたことを思うと、頑張れば必ず報われると実感しました。

国語は毎日、評論、古典、漢文を1題ずつ解き、感覚が鈍らないようにしました。

英語は、センター演習をやっているうちに、単語がぜんぜんわかっていないことに気づき、それからかなりの量の単語を覚えることにしました。長文は、1日に2題は読みました。

僕は、センター試験に失敗して名古屋のボーダーに届きませんでした。それで出願するかどうか悩みました。経済学部はセンター900点に対して2次が1500点の配点で逆転できる可能性がありました。先生と相談し、思い切って受験することにしました。

名古屋大学に合格できたのは、多くの人の助けがあったからだと思います。先生たちの細かな指導がなければ受からなかつただろうし、親の理解がなければ受験すらできなかつたと思います。

受験は定期考査の勉強と違つて1年間ずっと勉強しなければいけません。途中で受けたくなくなることもあるけれど、自分に負けないで後悔のないように頑張ってください。

## 12 愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻合格 ／

29回生 2010年(平成21年度)卒

私は受験勉強のためと言えるような勉強はあまりしていません。あえて言うなら、センター試験の直前に対策をしたぐらいです。では何をしたかというと学校で与えられた教材や補習を当たり前のよ

うにやっただけでした。南高はやるべきことをきちんと示してくれるので、私はしっかり勉強に取り組むことができました。ほんとうにこれだけで大学に合格しました。ですから皆さんも受験生になり勉強の仕方がわからなくなったら、まずは先生方が提案したことから始めてください。

一見何でもないような問題でも、意外と穴はあるものです。受験勉強はひたすらその穴を埋めていく作業の繰り返しです。例えば英語は、文法でミスがあったとき、その都度絶対に直してください。その小さなミスが合否を分けるのです。長文は何となく読めても、問題の作り手は文法がわかっているかどうかを基準に採点するので、悔ってはいけません。単語は、「学校で購入した単語のテキスト」で十分だと思いますが、余力があれば問題を解く中で新しく発見した単語を自分の単語帳に書き留めるなり、メモするなどして語彙力を増やしていくと効果的です。

私の志望する学部が外国語学部であることから、英語ができなければ致命的でした。そこで私が英語の勉強をする際、一番気にかけたことは、どんなに難しい問題でも極力辞書を使わずに解くことでした。何故なら、一旦、辞書を使うことが癖になると、読解力が向上しないからです。英語の問題で知らない単語が出てくるのは当たり前です。だからといって解けないわけはないのです。解くためのカギがちゃんと問題の中に作られているからです。それを探す努力をすることが大事なのです。

受験勉強はとても辛いものです。しかし少しでも勉強に楽しみを見い出せば、辛さは少し緩和されるものです。私の場合、世界史選択だったのですが、英文で歴史が題材にされると、世界史で習ったような内容が書かれたりして楽しんで読むことができました。このように違う教科をリンクさせて勉強を少しでも面白いものにするなどの工夫が、受験勉強には、必要だと思います。友達と勉強するのもいいです。

目標は高くして、模試でE判定が出ても簡単に諦めないでください。何よりも自分が後悔しないために。